

地域新聞

地域づくり推進室

進行
推し
りし
く学
グ見
域に
地室
まき



地域づくり推進室Q&A

とゆうことでは急に始まりました質問コーナー。ここでは皆で
人からしても気にならないうえに、あつちの地域づくり推進室
での質疑応答をまとめてみました。それではどうぞ！

Q1. 中山間地域で働くことの利点ってなんですか？
A. 都会ではあまり見られない美しい星空があ
たり、水や食べ物新鮮だったりと賑わっているこ
とです。

Q2. 市役所に入ろうと思っただけはなんですか？
A. ゆっくりするよりは仕事がたくさんあったからで
す。あと地域をより良くしよろうと思っただけです。

Q3. 市民と共に地域のために活動していくことの良
さって？
A. 人は一人で生活することは難しいんです。
皆で助け合うことの良さとか大切だと喜びを学べ
ることが市民活動の良さですね。

あとがき
今回のワールドワークで中山間地域ならではの
活動や良さをたくさん知ることができました。
これから地域のために貢献できるように頑
張ってまいります。

おわり



ボランティアや市民活動
楽しくLet'sコミュニケーション

地域づくり推進室では毎月「いきいき通信」というものが発行
されています。皆さんも見たことがあるでしょうか。
「いきいき通信」では、地域づくり活動や相談内容について掲載
されています。ボランティアは「お互い様」だと思えば「支え合い」な
防災活動をしているそうです。自分さえよければ...と思うのは
厳禁です。一人ひとりが支え合いの心を持つことが大事だと私は
思います。

市民活動では**生活を良くしていく**というところで、なるべく
お金をかけずに大きな**目標**をたてて地域をよりよくなるために活動
を行っています。十月二十四日に行われた、**芋掘り交流会**では**約100人**
の大人や子どもが参加したそうです。

このように自分さんも地域に**貢献**できるようなたくさんボランティアや
市民活動に参加してあげてほしいかかまうか。ま、と多くの人とコミュニケーショ
ンが取れていい経験になると思います。

後記
※都合により、編集後記が中間に来てい
ます※

僕はこのワールドワークで、地元津山
でも知らなかつたことを多く学びました。
そして、津山で行われている行事やイベ
ントについて知り、関わってみたいひと
らを感じました。この経験を通して、地域の
魅力を伝えていきたいと思えました。

☆ミニコーナー☆
～私たちにできること～

①地域のイベントに参加

しよう!!
イベントに参加することで、新しい発見があるかも!!

②地域の地図を眺める!

新しい疑問からいろいろ考察することで、興味がわくかも!

③地域の資料館などに行ってみる!!

資料館のものの中には、上の2つと通じる物があるかも!

上の3つの方法から取り組み、地域を盛り上げる手助けをしてみよう。

地域づくりのヒント集!

ここでは地域づくり推進室インタビューして分かった、地域づくりのヒントをまとめてみました。

吉:「私は人材ではなく人財だと思っただけです。リーダーに必要なのは人財の能力を引き出す力。それができる人こそが真のリーダー。」

湯浅さんは「皆を引っ張ってあげるリーダーもいけど、個々の能力を引き出せるリーダーもいよね」とおっしゃっていました。僕もそんな人はあがれるなと思うので、将来そんな人になれるよう頑張りたいです。

式:「働くとは何か。私は人のために働くことだと思えます。そう思って仕事をしています。僕はお金のために働くものと思っていたから、湯浅さんの考えがすごいなあと思いました。確かに字をよく見ると人偏に動くです。」

参考:「僕たちが働いている市役所とは、市民の役に立つ人がいる所だと思えます。」

湯浅さんから聞いた! 地域づくりのヒント集! 湯浅さん「よく考えてみたら僕たちがこの町で安心安全かつ楽しく快適に過ごしているのは周りのいろいろな仕事の人を支えてもらっているからなんです。そして市役所には様々な部署があり、僕たちの知らない場所が活躍しています。この話を聞いて、僕も人の役に立っているように頑張りたいと改めて感じました。」

地域の人にその地域の魅力を発信する方法

皆さんは地域のの人にその地域の魅力を伝えるとしたらどんな発信伝えますか? ここでは松達班が考えた方法を紹介します。

まず考えた案は「SNS」です。具体的にSNSを使い、美しい自然の風景や有名な郷土料理の写真などを発信するという取り組みです。これは若い人達に興味を持ってもらうという狙いがあります。

次に考えた案は「地域でイベントを開催する」です。具体的に地域でゲーム大会(ゲームはすくろく)で内容はその地域のことを開いたり、折り紙教室を開くという取り組みです。

これには若男女問わず、誰でも楽しんで遊べるという利点があり、すくろくをすることで住んでいる地域のことを知ってもらうという狙いがあります。

考えるともですが、皆が考えた様々な案を聞くのがこんな方法もあるんだと知れて楽しかったです。皆さんもぜひ、地域の魅力、発信の仕方について考え、自分なりの方法で発信してみてください。

地域づくり推進室 湯浅さん・和田さんからの課題頂いた課題... いろんなものがあれば地域について考えられるか

私はこの課題について地域について知ることができ、さらに楽しい活動が出来れば良いと考えます。

例えば、上記で示したように、マスに地域について書かせるという方法です。すくろくなら、子どもからお年寄りまで遊ばせたいです。他に、山にまつわるクイズや賞品があるとか、やる気も出ますし、関心を持てると思います。また、私はこのように、かけがえのない地域を、深く地域の良いところについて知ることもあれば良いと思います。これがあれば、深く地域の良いところについて知ることも、課題に対して、もう考えられるかも、思われます。そして、この若い人達が、この先の山間地域を救って、くれると思います。また、今日、インタビューを受けて、このように、少くも、考え実行したいと思えました。

